ページ	質問議員	質問事項
6	奥田とみ子	●犬猫殺処分ゼロを目指して ●良好な教室内環境を保つための小中学校エアコンの運用について ●水害対策に備えて
7	上野克也	●地方公会計の整備の進捗状況は　●マイナンバー制度について
7	栗原惠子	●調整池の維持管理について　●防犯対策について ●「走るＡＥＤ」について　●駅舎バリアフリー化事業について ●自主財源確保について
8	齋藤照夫	●町郷土資料館の展示品のさらなる拡充について ●町バラ園について
8	水上邦雄	●ふるさと納税について　●障子堀と権現堂を丸の内観光の柱に ●グラウンドゴルフで健康長寿と世代間交流の推進を ●認知症による障害者手帳の取得について
9	大沢　淳	●広域行政の今後 ●運転免許の自主返納事業と高齢者の足の確保 ●特定外来生物「ヒアリ」から住民を守る　●がんの早期発見のために ●公園のトイレの改修とバリアフリー法
9	中原敦子	●就学援助の「新入学児童生徒学用品費」の支給を３月実施に ●伊奈町の「子どもの生活実態調査」の実施を
10	戸張光枝	●魅力ある観光づくり ●高齢者の見守り・支えあいネットワークの強化を
10	藤原義春	●伊奈町の婚活事業について　●伊奈町の公園のトイレの改修について ●伊奈町の福祉の総合事業と今後の展望 ●小・中学校の教員の業務改善加速事業について
11	村山正弘	●中部特定土地区画整理事業の事業期間の延長 ●中部特定土地区画整理地内第一調整池 ●中部特定土地区画整理地内街区公園 ●中部特定土地区画整理地内中部公園 ●中部特定土地区画整理事業完成
11	加藤利明	●町の水害対応について
12	上野尚徳	●ごみ処理施設の建て替えの必要性について ●役場・庁舎の建て替えの必要性について ●雨に強い町制施行記念公園のグラウンド整備について ●有事の際の町民の安全確保について
12	五味雅美	●国民健康保険について　●一人暮らしの高齢者について ●保育施設の現況について　●マイナンバーの使用について

13人が登壇

９月定例会は、13人の議員が一般質問を行いました。その中から主な質疑応答の要旨を質問した議員の要約により掲載します。

なお、会議中の発言と答弁の詳細は、伊奈町議会ホームページおよび図書館に備えてある会議録でご覧になれます。(12月下旬掲載)

伊奈町議会　検索

犬猫殺処分ゼロを目指して

奥田（おくだ）とみ子（こ）　議員

問　県は犬猫殺処分ゼロを目指し、動物愛護推進委員が行う野良猫の不妊・去勢手術に、１回５千円、年間５万円を上限として助成事業費２００万円、地域猫推進事業費３６０万円を計上。町には野良猫の繁殖を防ぐ活動を長い間、自費で行っている方々がいる。町は殺処分ゼロ対策と地域猫推進事業にどう取り組むのか。

答　動物愛護について啓発している。地域猫推進事業は、多くの課題があり実施は難しい。県の事業を注視していく。

犬猫殺処分ゼロ
推進事業が急がれます!!

小中学校エアコンの運用について

問　エアコンが導入されて４年。様々な声が届いている。学校現場では、どのように運用されているのか。

答　町教育委員会で定めた、空調設備運用基準の中で運用している。使用のタイミングは各学校長が判断しているが、教室内の状況に応じ、担当教諭が温度管理をしている。保護者からの指摘には、適切に対応している。

水害対策に備えて

問　伊奈町版タイムラインを策定する考えは。

答　当町の水害は内水被害。荒川の堤防決壊を大規模水害と捉えた「水害対応チェックリスト」は作成している。住民主体のタイムラインは有意義。問い合わせには、丁寧に対応していく。

「地方公会計」の整備は

上野克也（うえのこくや）　議員

問　統一的な基準による財務書類および固定資産台帳の作成状況は。

答　平成30年度3月までに完成予定。

問　財務書類の活用は。

答　有形固定資産減価償却率を見ることで、資産の古さを確認ができ、更新時期を踏まえ、費用推計をして財源の確保等の検討を行う。また、各種財政指標の推移を考慮し、総合的に検討する。

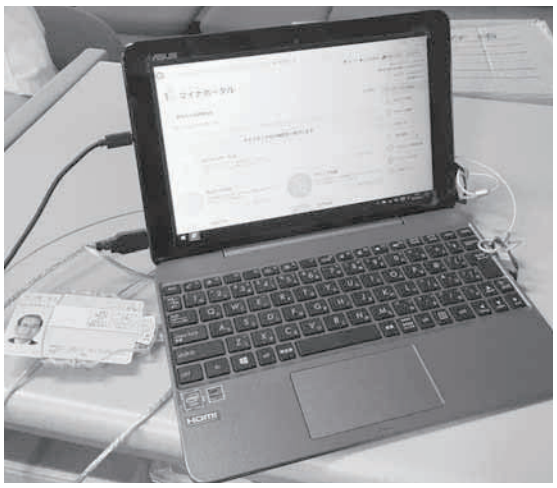
問　セグメント分析をミクロ的視点でのマネージメントは。

答　事業別や施設別での行政コスト計算書等を作成し、予算編成への活用や施設のコスト分析による施設の統廃合・新設、受益者負担割合、施設使用料の見直しに活用する。将来的には、行政評価と連携した活用も検討する。

マイナンバー制度について

問　個人向けオンラインサービス「マイナポータル」の利用方法は。

答　利用するには、マイナンバーカードが必要。同カードでログインした後、行政機関等が保有する特定個人情報等が検索でき、行政機関同士が情報連携した履歴の確認、子育てワンストップサービスによるオンライン申請などの利用が可能となる。現在、伊奈町では、子育てワンストップサービスにおける電子申請を準備中である。



マイナポータル入力画面です
役場に4台設置のマイナポータル用端末の1台です

伊奈中央駅に一日も早くエレベーターの設置を

栗原恵子（くりばらけいこ）　議員

問　高齢者や障がいのある方、乳幼児を持つお母さんの悲願。早期設置を。

答　本年度は、エレベーター設置に向け、実施設計業務を委託し、具体的な設計に入る。工事発注を来年度に行うことを想定し、準備を進めている。県からの補助金の確保やJR等との細部にわたる協議を進め、できるだけ早期に発注したい。

犯罪抑止と迅速な解決策

問　民間企業等に街頭防犯カメラの設置促進を。

答　事業系の開発行為にかかる事前の協議段階で、防犯カメラの設置の際は敷地内だけでなく、道路まで映るよう要請している。今後も、商工会をはじめ関係団体等には設置をお願いしていく。

問　ごみ収集車等のドライブレコーダーを「走る防犯カメラ」と位置づけ、町・警察・事業者との間で記録データ提供に関する協定を。

答　ドライブレコーダーの記録データについては、警察の捜査資料となることや犯罪の抑止にも効果が期待できると考えている。プライバシー保護も考慮し、警察をはじめ関係機関とも連携協議し、仕組みづくりを検討する。

町民の命を守るために

問　町内を巡回している「ごみ収集車」にAEDを搭載しては。

答　趣旨と課題を整理し、受託業者と協議していく。

人命救助に備え、また犯罪抑止にもひと役買うごみ収集車（春日部市取組み）

バラ公園の町民無料化を

齋藤照夫（さいとうてるお）　議員

町郷土資料館の展示品について

問　移設してからの入館者数は何人か。そのうち小中学生は何人か。

答　移転後の入館者数は平成28年度504人、うち小中学生は125人。平成29年度は8月末時点で222人、うち小中学生は29人である。

問　再来年は町制施行50周年にあたるが、その一環として各家庭にある歴史的に見て貴重な品物をお借りして展示会を開催できないか。

答　町民の方より募集している展示品については、既に数多くある。展示については、50周年記念事業の全体計画において、可能性を検討していく。

町バラ園について

問　園内は障がい者にも対応できる整備はされているのか。

答　園内は段差が無いように整備されている。またトイレも2箇所ある。

問　今年度の入場者数は。また売上金額はいくらか。

答　バラ園の入場者数は5万3077人で、売上金額は911万4200円である。

問　町民の入場料無料化の考えは。

答　バラ園の適正な入場料金設定については、伊奈町行財政改革推進会議に諮（はか）っており、料金改定に併せて町民の無料化も含めた優遇措置について研究したいと考えている。

移設した町郷土資料館

グラウンドゴルフで健康長寿と世代間交流を

水上邦雄（みずかみくにお）　議員

問　グラウンドゴルフは、世代間交流で子育て支援にもつながるのでは。

答　高度な技術を必要とせず、子どもから高齢者まで気軽に楽しめる。

問　気軽に参加できる場所と、用具の確保を。

答　中部公園も利用可能で、記念公園やアヤメ園跡地でもできるよう広場の整備をしている。用具の置き場は、管理者と協議する。

障子堀と権現堂を観光の柱に

問　障子堀、畝堀（うねぼり）の全体の発掘調査が必要では。

答　価値を次世代に継承し、地域住民との共生を大切にした保存活用計画を策定中である。

問　権現堂の価値を高める手だてが必要では。

答　伊奈氏屋敷跡全体の、歴史的価値を記す説明版の設置を協議していく。

ふるさと寄付金の課題は

問　課題と今後の対策は。

答　伊奈町では、寄附金による収入より、町民が町外に寄付することによる税の減収の方が大きい。返礼品をやめた自治体もあるが、町の特産品の「梨」を希望する人も多い。返礼品のコストを寄付額の3割以下にするなど見直しをする。

認知症による障害者手帳の普及を

問　取得状況は。

答　認知症関連の生活困難者13人が取得している。

午前9時に集まりラジオ体操で準備運動

がんの早期発見のために

大沢（おおさわ）　淳（じゅん）　議員

問　自己負担金の引き上げ状況は。

答　負担金のなかった70歳以上の方にも負担をお願いした。70歳未満の方も乳がん検診の個別、大腸がん検診で増額し、胸部レントゲン検査では新たに負担をいただいた。

問　検診によって、がんが発見された件数は。

答　子宮がん検診で1件。乳がん、大腸がん検診では各3件。

問　自己負担金の無料対象者の拡充を。

答　近隣の状況を確認しながら研究したい。

老朽化し改修が求められる公園のトイレ

運転免許の自主返納

問　町独自の支援事業を。

答　埼玉県警本部の実施する「シルバーサポート制度」では、運転経歴証明書を制度の協賛店舗に提示すると特典が受けられる。

問　コミュニティバスの充実など高齢者の足の確保を。

答　今後の町内循環バス「いなまる」のあり方は、行財政改革推進会議に諮問し、答申をいただく予定。答申を尊重し、住民の方々にとって利便性が高く、より多くの方々の生活の足としてご利用いただける運行形態を早期に検討したい。

公園のトイレの改修

問　バリアフリー化とトイレの改修を。

答　地域の方々のご意見を考慮し、優先順位を付けたい。

「子どもの生活実態調査」を

中原（なかはら）敦子（あつこ）　議員

「子どもの生活実態調査」の実施を

問　「子どもの生活実態調査」を実施する考えはあるか。

答　「伊奈町次世代育成支援及び子ども・子育て支援事業計画」の策定の際に、アンケートを実施する予定である。

問　「伊奈町次世代育成支援及び子ども・子育て支援事業計画」の見直しの予定はいつか。

答　平成30年度に計画の基礎となるアンケート調査を実施し、平成31年度に計画の策定作業を行う予定である。

伊奈町のすべての子どもが、自分の未来にまっすぐ向かっていけるために「子どもの生活実態調査」は必要です

就学援助の「新入学児童生徒学用品費」の支給を3月実施に

問　「新入学児童生徒学用品費」を3月にする場合の問題点は。

答　支給対象者にかかる支給基準日、認定作業、支給方法等の事務処理要領等の決定と予算措置が必要となる。今後、受付体制の確立と実施に向けた、近隣市との調整等が生じると考えている。

問　「新入学児童生徒学用品費」の支給を3月にした場合の問題点は、解決できるか。

答　児童・生徒の転入・転出は当然のことながら考えられる。制度運用にあたっては、近隣市との十分な調整を行い、予算措置についても関係課と協議していきたい。

魅力ある観光づくり

戸張光枝（とばりみつえ）　議員

新たなる観光の目玉にオープンガーデンを

問　バラまつりとタイアップし、オープンガーデンを開催することにより、地域の力で観光を活性化できると思うが将来の展望は。

答　自宅でバラを栽培されている伊奈町バラマスターズの方などの意見も聞きながら、先進地の事例も含め研究していく。

問　レンタサイクルを大いに活用し、縦横無尽に伊奈町を楽しんでもらうことが重要。バラまつりにおける観光客の平均滞在時間は。

答　おおむね2時間程度。今後、バラまつりにおけるイベントの充実策や来場した観光客が商店街や直売所などを回遊できるような仕組みなどを検討する。

高齢者の見守り・支えあいネットワークの強化を

問　徘徊高齢者支援事業には何があるか。

答　具体的な事業はない。

問　昨年度の徘徊高齢者の数は。

答　昨年度は5人。今年度は7人。

問　介護する側の家族への寄り添いも含め、徘徊高齢者早期発見ステッカー配布事業の考えは。

答　近隣市の取り組みの効果や成果などを参考に、どのような徘徊高齢者対策が有効か検討する。

癒しの空間オープンガーデン

伊奈町の小・中学校の教員の業務改善策

藤原義春（ふじはらよしはる）　議員

問　伊奈町の小・中学校の教員の業務改善加速事業を行うに至った経緯は。

答　教員の多忙化が社会問題となり、埼玉県は文部科学省の委託を受け、埼玉県がさらに伊奈町に委託し、業務アシスタントの配置や民間企業のノウハウを活用した取組みを行うことになった。

カエル会議の内容

問　業務改善加速事業のカエル会議の内容は。

答　中堅の先生等を構成員とする会議である。時間がかかってしまう業務を洗い出し、その改善策を話し合う。学校行事と業務の仕分け、校務の電子化、会議の設定の仕方など、学校の業務内容を見直す。

福祉の総合事業の現状

問　今年の4月から始まった、伊奈町の福祉の総合事業の現状は。

答　総合事業の対象となる要支援1・2の認定者が、平成29年3月末現在305人で、そのうちサービスを利用している人が189人だ。基準緩和した、新しいサービスも少数だが、利用されている。

ボランティアによる生活サポーター

問　ボランティアが生活サポーターになる制度はあるのか。

答　伊奈町商工会の「いなささえあいサービス」があり、その利用拡大を図る。

教員の業務改善加速事業の
拠点校のひとつとなる小室小学校

区画整理期間の延長に伴う改善と提言

村山正弘（むらやままさひろ） 議員

期間延長の要因

問　※付保留地（つけほりゅうち）の未精算が要因と思うが解決の見通しはどうか。

答　未解決の付保留地は50件で平成31年度の早い時期に解決したい。

第一調整池の乾燥底

問　第一調整池底部は湿地状態であり乾燥底に転換すべきだ。

答　県基準の貯溜容積を底部浸透で確保している。隣接の浄水場からの流入を防ぐ施策をしたい。

蔵屋敷西公園トイレ整備

問　街区公園は町民の交流とやすらぎの場でありトイレは必須である。北部を除き当公園だけがないので整備すべきだ。

答　当公園は反対意見もあり整備を見送った。今後は他の公園の補修優先順位で検討する。

中部公園の多目的利用

問　社会体育の発展、生涯スポーツの振興に取り組むべきだ。

答　グラウンドゴルフなどの常設コースは不可だが幅広いスポーツ利用を可能とする。

問　隣接区行事、町行事、商工会観光協会行事や災害時の避難所も考えインフラ整備をすべきだ。

答　イベント等を行う場合は、行為許可申請で利用することは可能だ。

新地区名

問　区画整理事業地の新地区名はどうか。

答　事業進捗等から検討していく。

中部特定土地区画整理地内第一調整池を乾燥底に

※付保留地
換地に隣接した保留地のこと。

町の水害対応は

加藤利明（かとうとしあき） 議員

問　平成27年6月16日の豪雨によって新幹線側道で、4人が車両に取り残されたが、その後の対応は。

答　尊い生命が危険にさらされたことの重大性を鑑み（かんがみ）、二度とこのようなことが起こらないよう、通行者へ危険を知らせるため、路面に注意喚起の表示し、水位表示板を設置した。通行に支障がある場合は、通行規制等の対応をする。

問　光ヶ丘地区の床上・床下浸水への対応は。

答　床上浸水13棟、床下浸水15棟の被害が発生し翌17日に町職員が速やかに消毒作業を実施した。水害により発生した廃棄物についても、衛生面で問題があるため、地元区長と協議し、処分をした。また、流入する雨水を排水するため、ポンプ施設の機器をかさ上げした。流入防止を迅速に行うため、光ヶ丘公民館に、土のう200袋を常備した。

問　高齢者や障がいがある方への周知や避難誘導は。

答　申請により「伊奈町避難行動要支援者避難支援プラン個別台帳」に登録している。この情報を基に、各区長、自主防災組織、民生委員・児童委員などの協力を得て、迅速かつ的確に伝達することになっている。

車の水没事故への注意喚起をする「水位表示板」

老朽化の「ごみ処理施設」「役場庁舎」をどうするのか

上野尚徳（うえのなおのり）　議員

ごみ処理施設の停止は町民生活に甚大な被害。稼働29年目。今後の判断を

問　近年の修繕費は。

答　3年で2億5千万円。

問　比較検討、町民説明のため、建替費の算出を。

答　コスト削減等を図り、広域化を推進するので、費用の算出はしていない。

問　広域化の進捗状況は。

答　上尾市と共同で新施設の建設・稼働とする広域化で確認。実現に向け、協議を重ねていきたい。

役場北庁舎：昭和47年建築・築45年。東庁舎：築35年。建替えの必要性は

問　現庁舎の問題点は。

答　北庁舎は耐震補強が必要。両庁舎とも老朽化が進み、雨漏り、設備更新が必要な箇所も多い。

問　建て替えが必要な時期と町の考え方は。

答　早期に対応したいが、財政的に厳しい。検討委員会を立ち上げ検討している。年度内に行財政改革推進会議に諮りたい。

問　財政負担の縮減、財政支出の平準化。PFIによる建て替えの検討を。

答　有効な手段と認識。金融機関との勉強会、国の研修会へ参加。積極的な情報収集に努めている。

スポーツを楽しみ、イベントでも活用するバラ公園のグラウンド整備を

問　雨の後に利用できるよう水はけの改善を。

答　表土の改良、暗渠排水、浸透式側溝へ布設替え等、研究していきたい。

「有事の際の町民の安全確保」への取り組みを！

国保の都道府県化で負担増にならないように

五味雅美（ごみまさみ）　議員

問　来年度からの都道府県化で保険税はどうなるのか。また、全国の自治体は、保険税を抑えるために一般会計からの繰入れを独自に行っているが、国はこれを解消させようとしている。国庫補助が不十分なままで保険税が上がることになる。繰入は自治体が決めることで、法令で禁止できないと政府も認めており、やめるべきではない。

答　県の試算では、伊奈町の来年度の一人当たり保険税額は11万3千円で、29年度の9万6千円に対し17％増となる。一般会計繰入額は今後決める。

一人暮らし高齢者の見守りと対処方法の周知を

問　一人暮らし高齢者は町内世帯数の1割と今や身近な存在。安否確認に回覧板や広報配布などの機会を活かすこと、また異変を感じたときの対処方法の周知を。

答　「お年寄り世帯見守りたい」で孤独死を防げた事案も出ている。

保育施設への調査は

問　事故防止のためにも行政の指導助言が必要。

答　検査は法令で、保育所は県が、小規模保育は町が実施し、その他町独自に町内私立保育園で毎年実施している。

マイナンバーの無用な記載は止めるべき

問　住民税「通知書」への記載は徴収業務に不要。

答　表示しなかった。

安心できる医療
国保財政は国の責任で